

海外M&Aを推進

30年9月期
売上高 100億円積み増し

オリコンサルHD

オリエンタルコンサルタ
ンツホールディングス（H
D）は、海外でのM&A
（企業合併・買収）や現地企
業の株式取得を強化する。
2030年9月期の連結売
上高で、M&Aなどによる
上積み分として約100億
円を見込む。対象地域は東
南アジアや南米、アフリカ

北東部など。海外事業を担
うオリエンタルコンサルタ
ンツグローバルが、軌道系
分野などのコンサルタント
業務を中心に積極的に事業
展開していく。

オリコンサルHDは、
「2030年ビジョンおよ
び中期経営計画」で、30年
9月期の連結売上高目標を

1100億円に設定してい
る。27日に都内で開いた25
年10月～26年3月期の決算
説明会で、オリエンタルコ
ンサルタングローバルの

米澤栄二社長は「100億
円程度の売り上げにつなが
るM&Aを想定している」
と述べた。従来目標に10
0億円を上乗せし、M&A
などの分を含めた連結売上
高1200億円を目指す考
えだ。

同社はベトナムで、イン
フラコンサルタントのTE
DIや建築コンサルタント
のVNCCの株式を保有。
フィリピンでは、農業用水
路や医療分野に強みを持つ
プライメックスの株式を取
得するなど、現地企業との
協力関係を築いてきた。25

年9月には、チリで鉱山事
業のコンサルティングを手
掛けるスメックチリの株式
を取得している。